

群馬県中小企業団体中央会

第63回通常総会



第63回通常総会が5月31日、前橋市・前橋商工会議所会館において開催された。総会では、令和元年度事業計画・予算をはじめとする6議案が全て原案通り可決承認・決定された。また、役員改選では吉田勝彦氏が新会長に選任された。

通常総会の冒頭、開会挨拶に立った金子正元会長は、「中小企業・小規模事業者は、厳しい経営環境にある中、中小企業組合を通じて、人手不足、働き方改革、事業承継、消費税複数税率への対応などの経営課題解決に取り組んでいる。」

中央会では、こうした課題への支援を行っているが、国・県などの様々な施策を活用しながら、会員・組合員企業の業績向上のための支援に努めていく」と挨拶。



金子会長

続いて来賓祝辞として、群馬県産業経済部長・鬼形尚道氏が、知事代理として、「中小・小規模事業者を取り巻く環境は、様々な経営課題に直面しており、依然として厳しい状況であると認識している。こうした中、県では来年開所を目指している群馬コンベンションセンター『Gメッセ群馬』を活用し

た産業振興施策、また、6月から県内への移住促進施策として、東京23区から群馬県に移住し、県内企業に就職した方に支援金を支給する『わくわくぐんま生活実現支援事業』を開始する」と述べた。



鬼形産業経済部長

次いで群馬県議会議長・狩野浩志氏より、「中小企業の活性化は県政の最重要課題と考えている。県議会としても今後とも全力で取り組んでいく覚悟である」との祝辞をいただいた。



狩野県議会議長

次いで全国中小企業団体中央会専務理事・高橋晴樹氏が、「中央会では『組合のあり方研究会』を設け、中央会と組合が一緒になり、いわゆる伴走型支援をしていく方針を打ち出している。組合の皆様には、ぜひ中央会に声をかけていただきたい」との祝辞を行った。



高橋専務理事

続いて、金子会長が議長に選任され議事に入り、第1号議案から第6号議案について須藤総務課長が説明を行った。

審議の結果、いずれの議案も満場一致で原案通り可決承認・決定された。

続く第7号議案では、役員全員任期満了に伴う役員選挙が行われ、吉田勝彦氏が会長に、併せて理事40名、監事3名が選任された。

通常総会終了後、選任された理事により、別室にて開かれた理事会において、副会長に遠藤祐司氏、

櫻井弘氏、武井宏氏、田部井俊勝氏、串田紀之氏が選任された。

また、専従役員については小林雄二郎氏が専務理事に再任された。理事会後、総会会場にて、選任の結果が報告され、吉田新会長より新任挨拶、金子前会長より退任挨拶が行われた。

報告会終了後、群馬県知事や地元選出国会議員、関係諸機関等多くの来賓出席のもと、懇親会が開催された。



吉田新会長

始めに、吉田会長が開会挨拶を行った後、来賓祝辞として大澤正明知事が、金子前会長へ長年にわたる県政・県内中小企業発展の尽力に対する謝意、吉田会長には引き続き本県産業振興に関する協力依頼を行った後、「来年は、群馬県にとつて大きな飛躍発展の年となる。Gメッセ群馬のオープン、群馬DCの開催を追い風に、本県産

業を大きく羽ばたかせる絶好の機会となる。これを将来につなげていくためには、中小・小規模事業者が元気に活躍することが不可欠であり、県でも全力で支援に取り組んでいきたい」と挨拶。



大澤知事

次いで、日本銀行前橋支店長・岡山和裕氏より、「日銀は金融緩和を継続しており、物価安定目標を早期に実現することを目指している。こうした金融環境が企業、家計の活動をサポートし、県内経済がより強い姿になることを期待している」との祝辞をいただいた。



岡山日銀前橋支店長

来賓祝辞に続いて、群馬銀行取締役会長・木部和雄氏の音頭により乾杯となった。



乾杯の様子

懇親会の中で、県内選出の国会議員である山本一太参議院議員、尾身朝子衆議院議員、上野宏史衆議院議員が挨拶を行った。終始、和やかな雰囲気の中で懇親が深められ、櫻井副会長の中締めの挨拶をもって全日程を終了した。



懇親会の様子



組合の今日的意義の発信と

組合及び個社の課題解決を支援

会長 吉田 勝彦

去る5月31日の通常総会におきまして、第12代会長に選任されました吉田勝彦でございます。身に余る光栄と同時に責任の重さを感じているところでございます。

金子前会長には、5期10年にわたり、会長として中小企業の振興発展、中央会の運営にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

今後は、金子前会長と同様に、会員の皆様、役員の方々のご協力、ご支援を仰ぎながら、会の運営に当たって参る所存ですのでどうぞよろしくお願いいたします。

世界経済の景気減速懸念などにより、国内企業の景況感は悪化しつつあり、とりわけ中小企業・小規模事業者は、多くの経営課題を抱えながらの厳しい経営が予想されます。人口減少と急速な高齢化、人手不足による地方経済の活力の低下が懸念される中であって、IT、ICT、IoTの活用により生産性向上を図ることが、地方における中小企業・小規模事業者にとって極めて重要であると日頃より考えております。

このような状況下にあつて、中小企業・小規模事業者は、中小企業組合を活用し、共同受注や共同購買、行政との災害復旧支援協定の締結、技術・技能の伝承など、組合の特徴を活かし、様々な共同事業に取り組んでいます。中小企業・小規模事業者の組織化の意義は大きく、この群

馬県においても組合活動は盛んに行われ、大いに効果が発揮されていると認識しています。

本会は、こうした、組合員企業の経営支援に加え、社会的インフラという側面を持つ組合活動を引き続き強力に支援していくとともに、「生産性の向上」「人手不足対策」「働き方改革への対応」「円滑な事業承継」等の中小企業・小規模事業者が抱える重要課題についても、協同することで経営資源を補完・補強する組合等連携組織を通じて支援して参ります。

国、県等の施策に対応した効果的な中央会事業の実施に努め、一方、行政に対しても、生産性の向上に加え、人手不足に対応する労働環境改善の取組みに対する一層の支援や、大手企業の積極的な県内誘致などを期待しているところであります。中小企業・小規模事業者の声を全国中央会等関係機関と連携し、提言して参りたいと考えております。

令和の時代を迎え、全国中央会・都道府県中央会が掲げる「つながるひろげる 連携の架け橋」をスローガンのもと、群馬県中央会の特長も発揮しながら、会員の皆様の課題に対して伴走型の支援を展開して参る所存ですので、関係機関の皆様、会員及び組合員企業の皆様の引き続きのご協力を重ねてお願い申し上げます。

新役員名簿

(敬称略)

職名	氏名	所 属	備考
会 長	吉 田 勝 彦	群馬県中小企業振興協同組合	新 任
副 会 長	遠 藤 祐 司	群馬県高圧容器整備協同組合	再 選
〃	櫻 井 弘	群馬県柔道整備師協同組合	〃
〃	武 井 宏	群馬県トラック事業協同組合	〃
〃	田 部 井 俊 勝	ぐんま共済協同組合	新 任
〃	串 田 紀 之	協同組合群馬県機械設備工業会	〃
専務理事	小 林 雄 二 郎	(専 従)	再 選
常任理事	青 柳 剛	群馬県建設事業協同組合	再 選
〃	坂 本 正 堂	太田機械金属工業協同組合	〃
〃	今 川 守	群馬県商店街振興組合連合会	〃
〃	森 田 繁	群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合	〃
〃	小 谷 野 一 彦	群馬県電気工事工業組合	〃
〃	吉 濱 達 三	高崎卸商社街協同組合	〃
〃	牛 腸 章	桐生織物協同組合	〃
〃	吉 田 幸 雄	群馬県酒造協同組合	〃
〃	高 木 康 夫	群馬県生コンクリート工業組合	〃
〃	上 岡 克 己	群馬県再生資源事業協同組合連合会	〃
〃	小 林 正 弘	一般社団法人群馬県信用組合協会	新 任
〃	金 井 正 直	前橋機械金属工業協同組合	〃
〃	石 川 靖	群馬県印刷工業組合	〃
〃	大 竹 良 明	群馬県鐵構業協同組合	〃
〃	木 村 英 男	群馬県農業機械商業協同組合	〃
理 事	植 木 修	前橋中心商店街協同組合	再 選
〃	都 丸 正 樹	協同組合前橋問屋センター	〃
〃	星 野 陽 司	群馬県製麺工業協同組合	〃
〃	神 保 文 明	群馬県中古自動車販売商工組合	〃
〃	黒 澤 昇	東日本編レース工業組合	〃
〃	松 井 和 夫	群馬デリカ食品協同組合	〃
〃	長 井 貞 二	群馬県不動産事業協同組合	〃
〃	堀 越 芳 春	群馬県パン協同組合	〃
〃	伊 藤 淳	群馬県鍍金工業組合	〃
〃	征 矢 野 茂	群馬県食肉事業協同組合連合会	〃
〃	青 木 罔 衛	群馬県室内装飾事業協同組合	新 任
〃	奥 野 桂 一	伊勢崎織物協同組合	〃
〃	塚 田 且 美	群馬県ビルメンテナンス協同組合	〃
〃	鈴 木 昭 彦	群馬県自動車車体整備協同組合	〃
〃	町 田 憲 昭	群馬県コンクリートブロック事業協同組合	〃
〃	清 水 義 典	群馬県電機商業組合	〃
〃	富 澤 健 一	群馬県漬物工業協同組合	〃
〃	横 山 順 一	群馬県給食協同組合連合会	〃
〃	川 嶋 正 靖	高崎機械工業協同組合	〃
監 事	植 松 巖	群馬県紙器段ボール箱工業組合	再 選
〃	手 島 昇 一	群馬県税理士協同組合	〃
〃	赤 間 美 代 子	赤帽群馬県軽自動車運送協同組合	〃